

ハワイ州カウアイ島から

ベルナード・カバリオ郡長が来島

さらなる友好と交流の発展を願う 固い握手

周防大島町と姉妹島縁組をしている、アメリカ・ハワイ州カウアイ島のベルナード・カバリオ郡長一行8名が、友好親善のため、11月12日から4日間の日程で周防大島町を

訪問されました。

郡長一行は13日に町長を表敬訪問。出迎えた椎木町長と会談し、スポーツや教育の他、文化や観光など、いろいろな分野での交流をしようとして

互いに話し、友好のしるしとして、郡長からカヌーのパドルをかたどった記念品が贈られました。

また、日本ハワイ移民資料館も訪れ、互いの友好と発展を願う、オリーブの苗木の記念植樹が行われました。



〈左写真〉日本ハワイ移民資料館においてオリーブの苗木を記念植樹。〈右上写真〉町長を表敬訪問。様々な分野での交流をしようという意見を交わしました。〈右下写真〉久美保育所でフラの交流の後、子どもたちとふれ合いました。体の大きな郡長さんに子どもたちは興味津々。

一行は滞在期間中、12日に周防大島高校、13日に老人ホームや保育園、町長表敬、ハワイ移民資料館、大島商船高専、14日には柑橘選果場、竜崎温泉と精力的に各所を訪問。同行しているウクレレ奏者やフラダンサーらが、音楽や踊りを披露し、郡長自身も音楽が趣味とあって美しい歌声を響かせ友好を深めました。

また、即興で故郷（ふるさと）の音頭を取り、出席者らと歌う場面もあり、終始和やかな雰囲気になりました。

周防大島は明治18年から10年間、官約移民で約3900人もの人々がハワイへ渡っており、それを縁に昭和38年に姉妹島縁組を締結。以来、友好交流が続いています。

広島・山口両県知事会議が周防大島町で開催されました



▲椎木町長（写真右）の案内で星野哲郎記念館を視察される（前列左から）村岡知事、湯崎知事

11月24日、広島県の湯崎英彦知事と山口県の村岡嗣政知事による知事会議が片添のリゾートホテルで開かれました。

この会議は隣接する両県が、共通する地域課題等について認識を深めるとともに、両県の連携に係る意見交換を行うことを目的に開いているもので今回で2回目。本町を会場に両県の知事が会議を開

くのは初めての事です。

会議では、地方へのひとの流れづくりや広域観光周遊ルートの推進、結婚支援への取り組み、障害者支援の連携などが話し合われました。

会議に先立ち、周防大島町へ移住し活躍されている方々と意見交換。また、星野哲郎記念館や体験型修学旅行の入村式も視察されました。